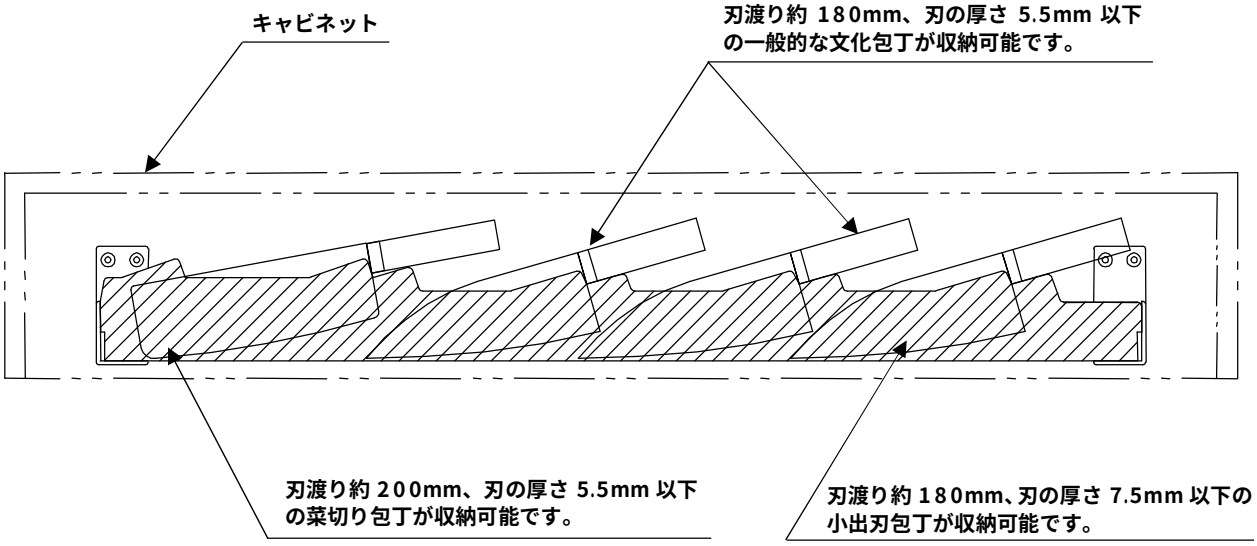
YH-BC シリーズ包丁差し取扱説明書

本取扱説明書は良くお読みになり、大切に保管して下さい。

YH―BC900・YH―BC750
本図は YH―BC900 で説明

<包丁の収納方法>

下図の様にしっかりと包丁を入れます。

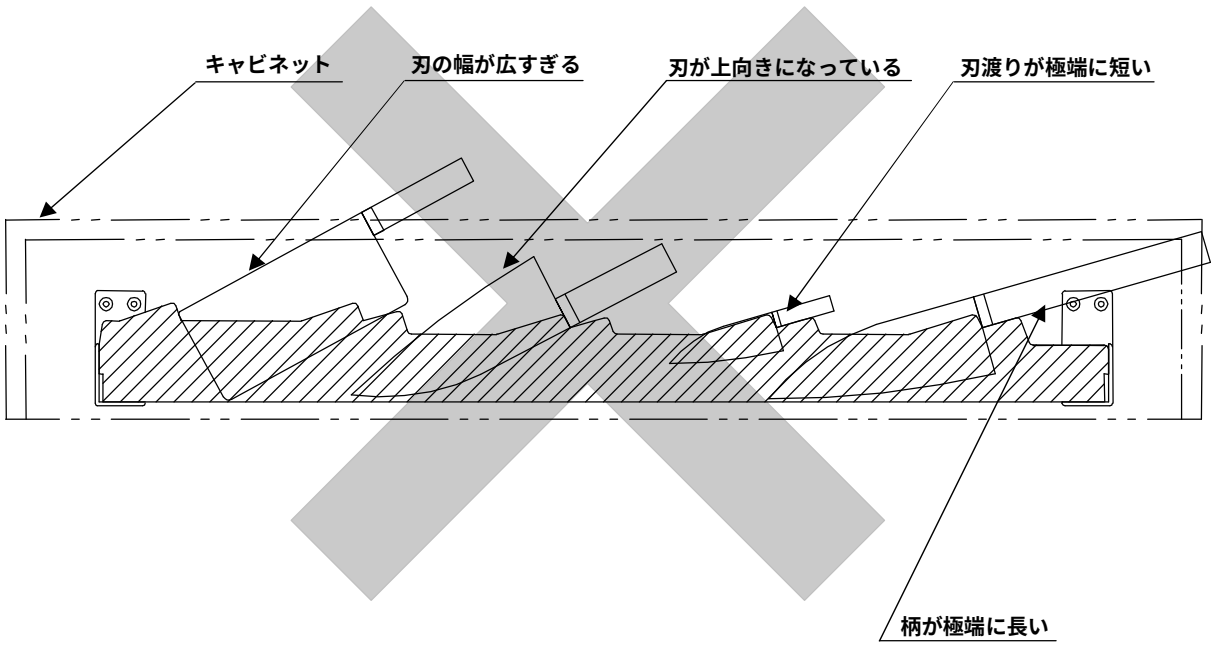


⚠注意

○包丁の刃は必ず下向きにして入れて下さい。上向きに入れますと包丁差しから刃が出た状態になり大変危険です。

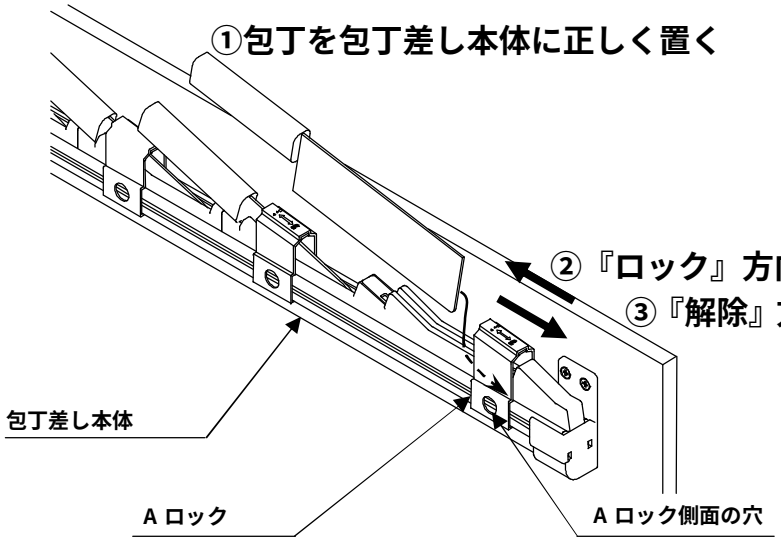
○包丁のサイズ、形状によっては収納できないものがあります。扉や抽斗の開閉に支障をきたす形状の包丁、極端に刃渡りの長い包丁又は短い包丁（果物ナイフ、ナイフ等）、刃の幅の広い包丁、収納した際に安定しない形状の包丁は入れないで下さい。けがをする恐れがあります。

○しっかり包丁が収納されていない状態や極端に柄の長い包丁を収納しますとキャビネットと扉の間に柄が挟まったり、反動で包丁が飛び出したりする可能性があり危険です。



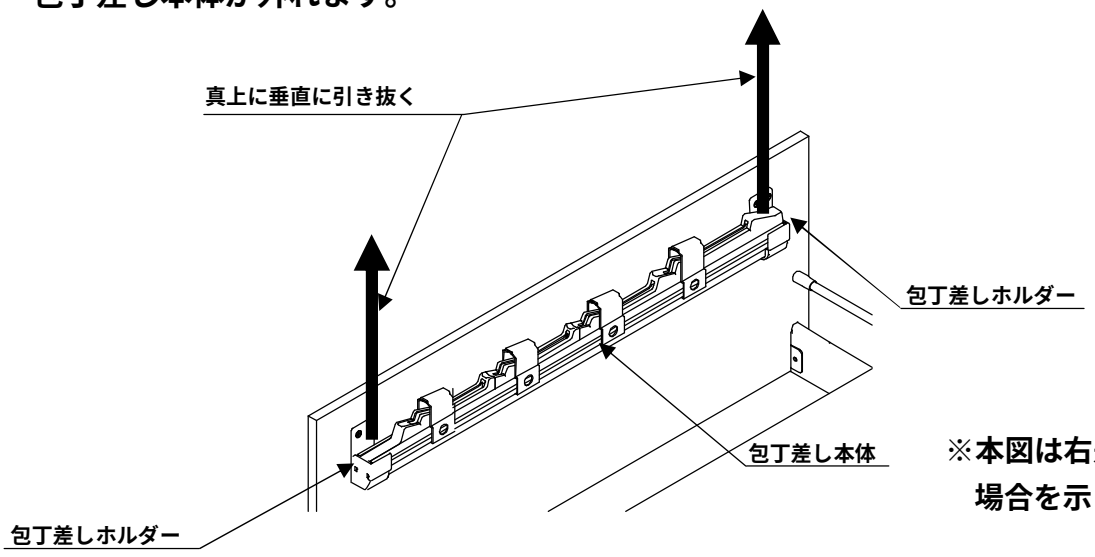
＜チャイルドロック操作方法＞（YH-BC900 は 4 個、YH-BC750 は 3 個付属）

① 包丁を包丁差し本体に正しく置きます。
② A ロックの側面に空いている穴に指を入れて『ロック』の方向に止まるまでスライドします。この状態で包丁の柄を持ち外れないことを確かめて下さい。
③ 解除する場合は A ロック側面に空いている穴に指を入れて包丁の刃の方向にスライドさせると解除となります。



＜包丁差し本体の取り外し方法＞

① 包丁差しホルダーの内側の包丁差し本体を両手でつかみ、真上に垂直に引き抜きます。すると包丁差し本体が外れます。

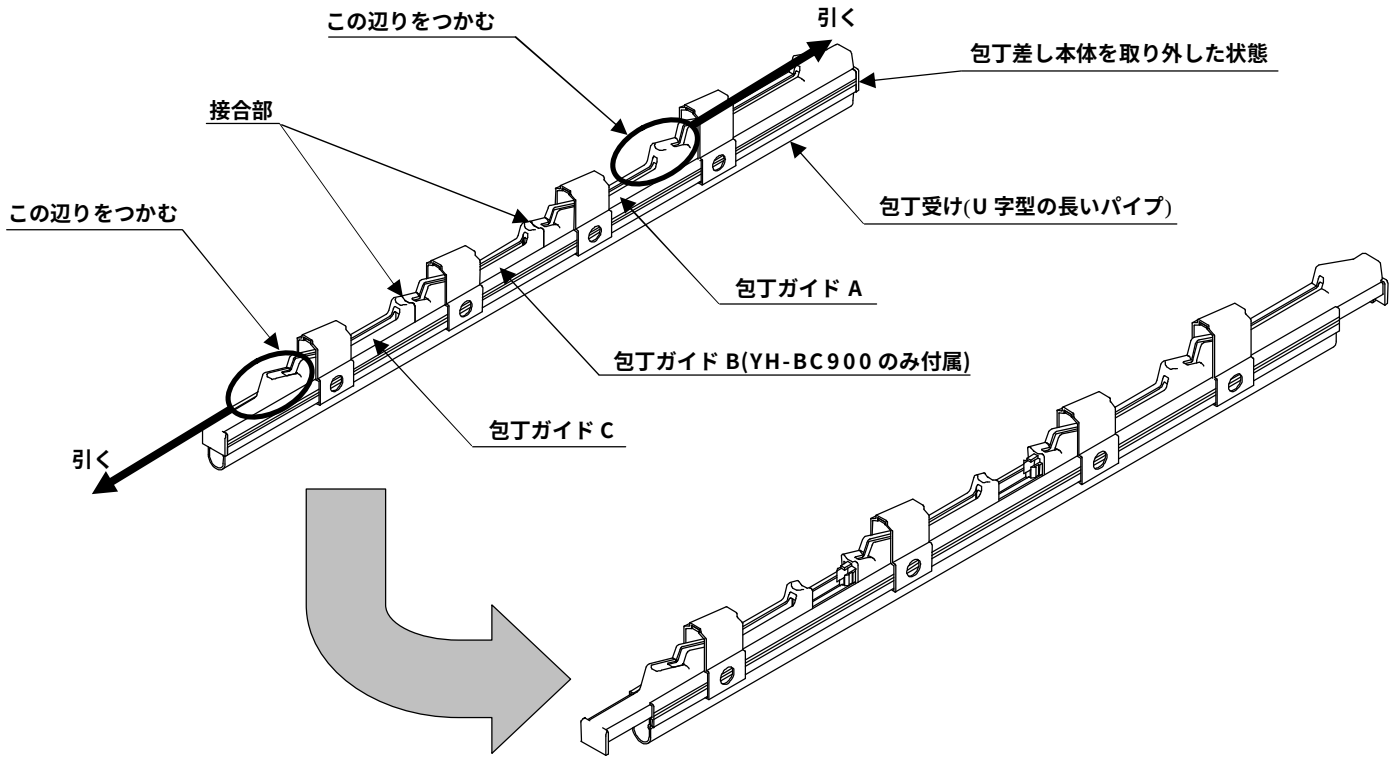


※本図は右差込みタイプでの場合を示します。

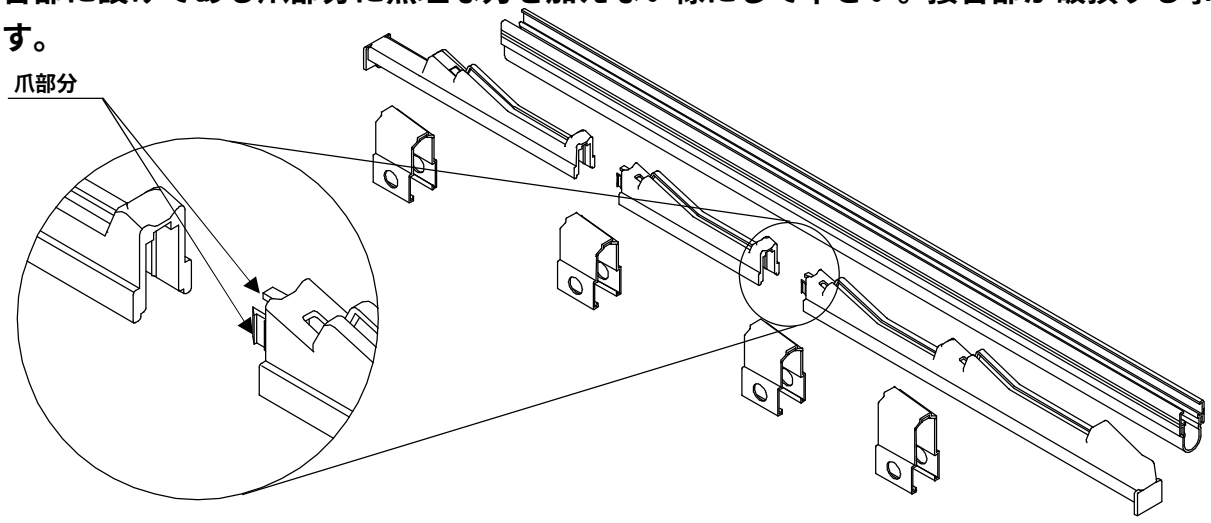
⚠注意

○包丁差し本体を包丁差しケースから取り外す際、その前に必ずすべての包丁を抜き取って下さい。
包丁を入れたまま行うと包丁が落下し、けがをする恐れがあります。

② 包丁ガイド A、包丁ガイド C のみをつかんで両端側に引きます。この時、包丁受けを一緒につかんで両端側に引いても外れませんので注意して下さい。包丁ガイド A、包丁ガイド B、包丁ガイド C の部のいずれかが外れて隙間ができます。



③ 接合部が外れて隙間ができたら左右にすべての包丁ガイド、A ロックを同時に包丁受けから抜き取ります。この状態で水洗い、清掃が出来ます。包丁ガイドを清掃する時には包丁ガイドの接合部に設けてある爪部分に無理な力を加えない様にして下さい。接合部が破損する事があります。



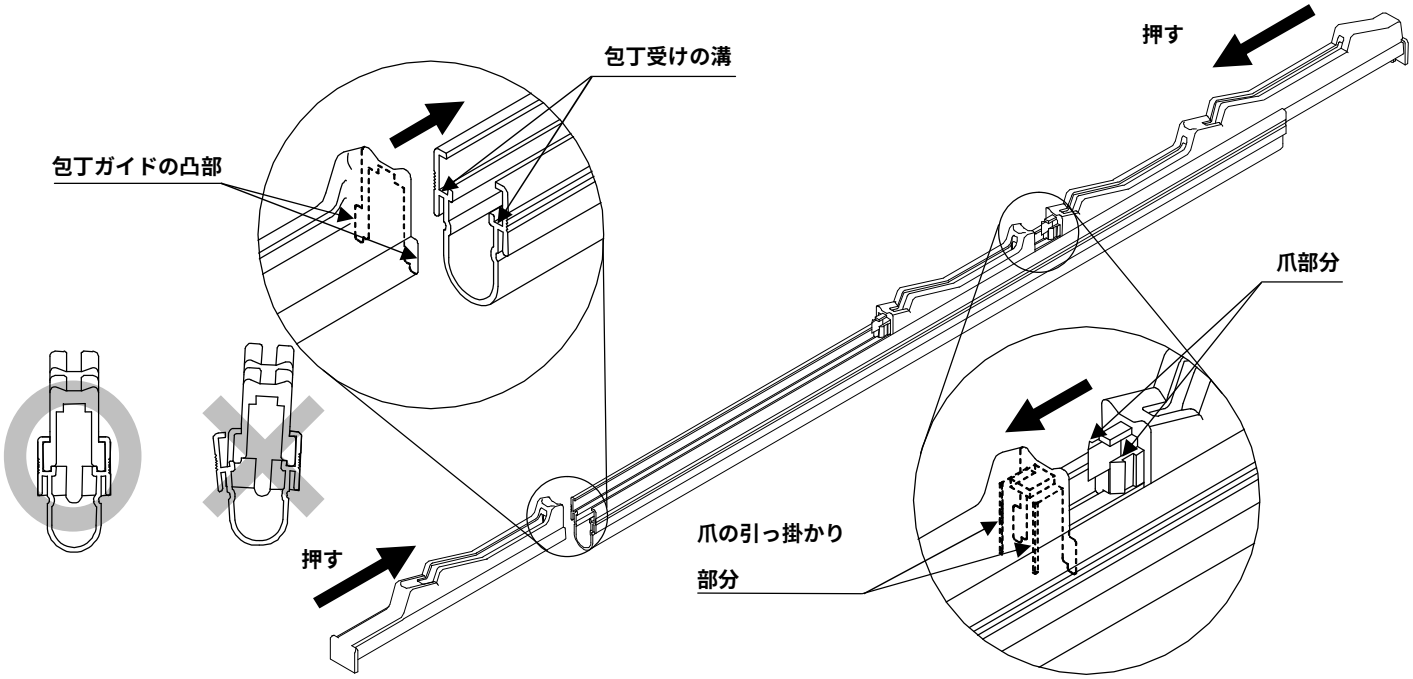
⚠注意

○包丁差し本体、A ロックの部品は清掃・水洗いした後、水気をやわらかい布やタオル等で拭き取ってから取り付けて下さい。水気をつけたまま取り付けると固定部分が劣化し破損する恐れがあります。

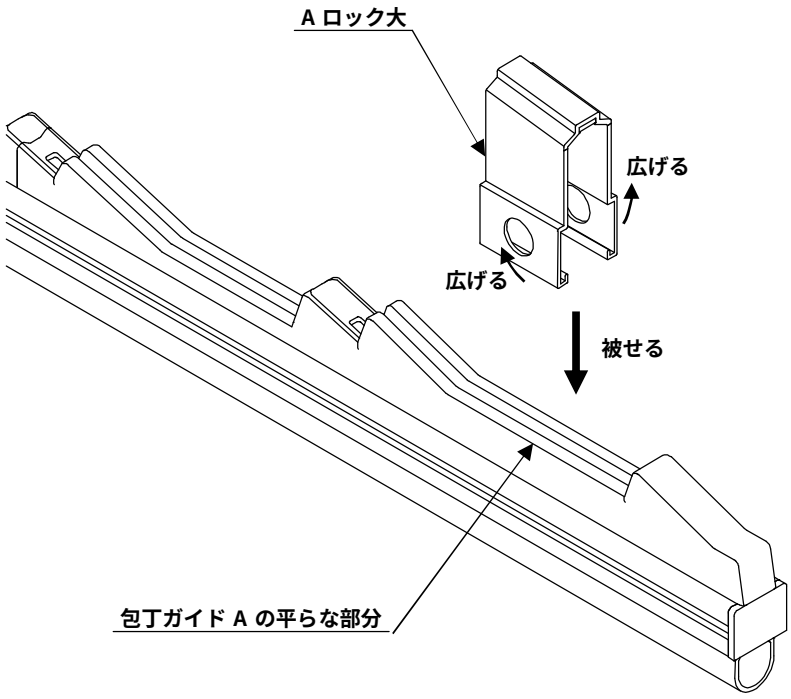
○清掃には家庭用台所中性洗剤をご使用下さい。酸性洗剤や塩素系洗剤等を使用しますと製品が劣化してもろくなったり、変色する恐れがありますのでおやめ下さい。

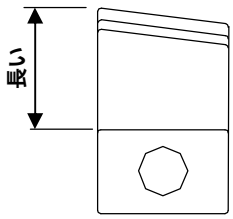
＜包丁差し本体の取り付け方法＞

① 包丁ガイド A、包丁ガイド B、包丁ガイド C を包丁受けの溝に滑らせて入れます。包丁ガイドの接合部の爪がしっかりとかみ合うまで両端から包丁ガイドを押します。また包丁ガイドの凸部と包丁受けの溝がしっかりと挿入されていないと包丁ガイドが包丁受けから外れてしまいますので注意して下さい。

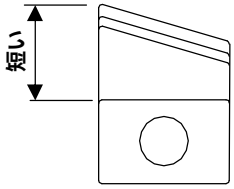


② 組立てた包丁差し本体に A ロック大を広げながら包丁ガイド A の平らな部分の上から被せます。
A ロックには大と小がありますので注意して下さい。
(YH-BC900 は大が 1 個、小が 3 個、YH-BC750 は大が 1 個、小が 2 個あります)



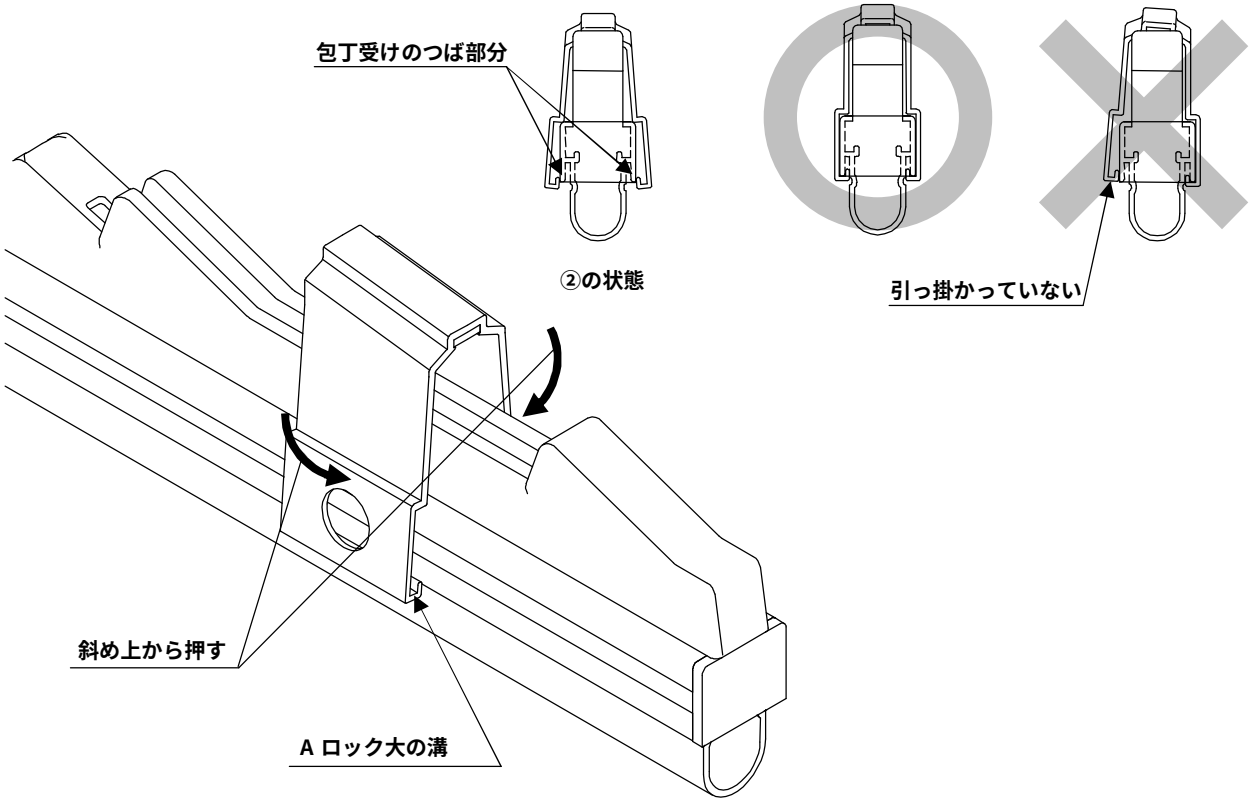


<A ロック大>
YH-BC900：1 個
YH-BC750：1 個



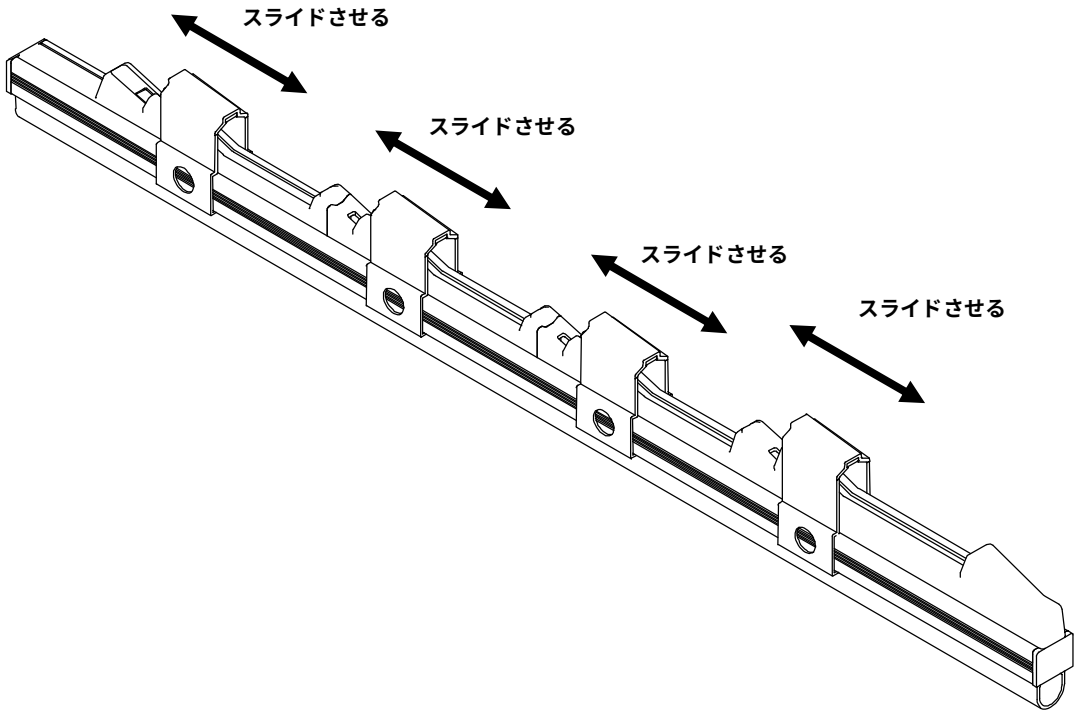
<A ロック小>
YH-BC900：3 個
YH-BC750：2 個

③ 被せた A ロック大の溝を片側ずつ斜め上から押して包丁受けのつば部分に引掛けます。この時 A ロック大の溝が包丁受けのつば部分が両方ともしっかり引っ掛かっていることを確認して下さい。

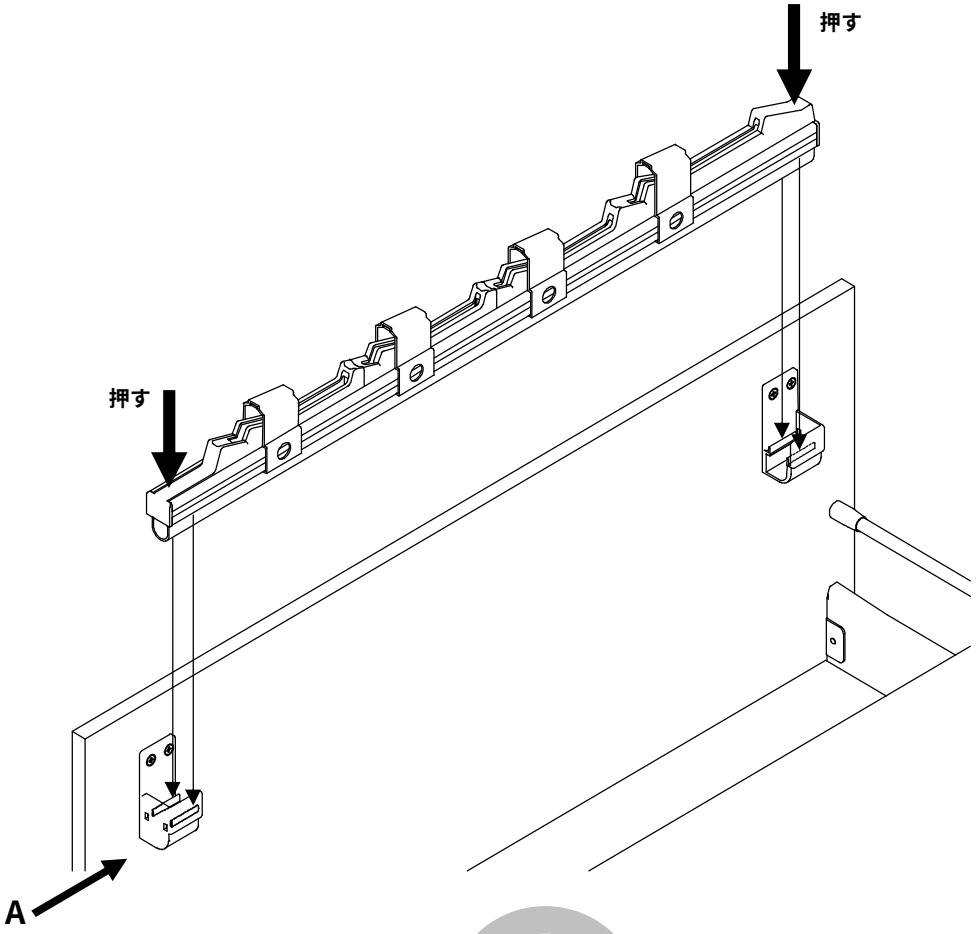


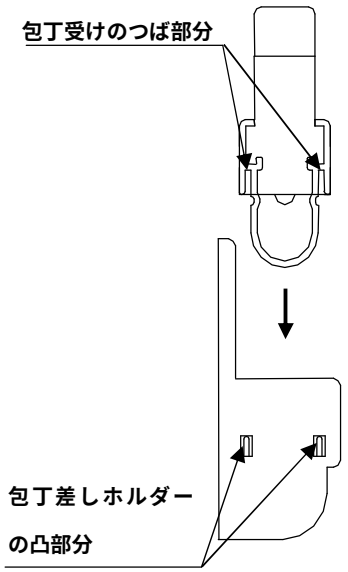
④ 同様に A ロック小も②～③の要領で取付けてください。

⑤ 全ての A ロックが取付いたらきちんとスライドするか確認して下さい。きちんと溝に入っていない場合はスライドする時に動きません。

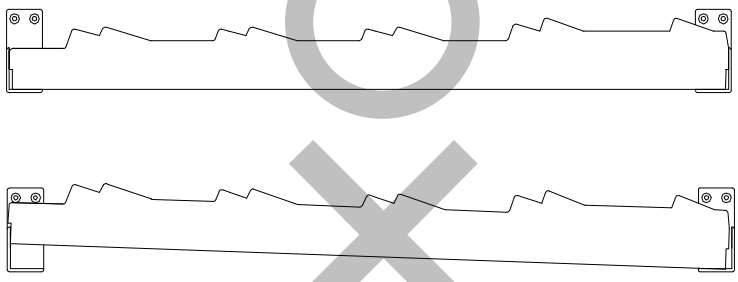


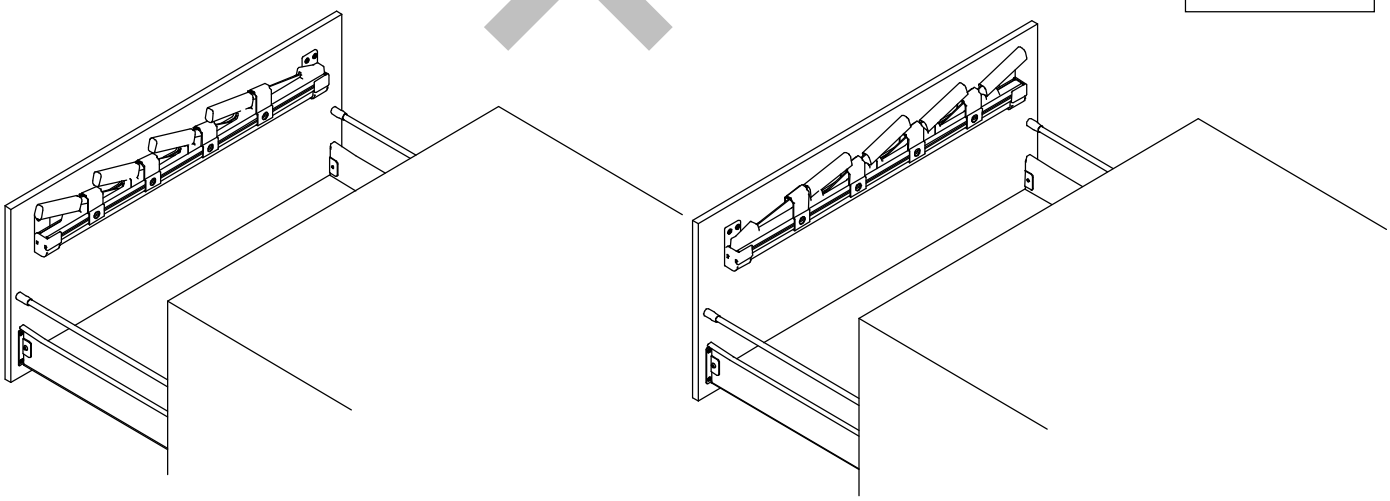
② 組立てた包丁差し本体を包丁差しホルダーに左右使い勝手を確認して置き、垂直に押します。この時包丁差しホルダーの凸部が包丁受けのつば部分にきちんと挿入し、パコと入るまで押して包丁差し本体が正面から見て水平になるようにして下さい。





A から見た状態





右差込みタイプ　　左差込みタイプ